

分野連携企画報告書

行事（企画）名 部門間連携合同OS（ROBOMECH2024）

行事URL : <https://robomech.org/2024/>

1.開催日・会場 2024年5月29日～6月1日
ライトキューブ宇都宮

3.企画内容

ロボティクス・メカトロニクス分野の知見・技術を他の部門に広げること、横展開可能な知見・技術へと発展させることが望ましい。ロボティクス・メカトロニクス部門講演会（ROBOMECH）はすべての発表がポスター形式であり、互いに情報を交換することが容易な講演会である。そこで、分野間連携合同OSを拡充と継続性を企画した。さらに、当部門ではPC委員会と連携する部門間連携委員を新設し、他分野からの講演参加の声かけや、ロボティクス・メカトロニクス分野研究の他分野への発表講演を促進する。将来的には分野連携の協働的な発展を期待する。

4.連携の成果

これまで部門間連携合同OSは担当委員の個人的な繋がりで集められており、安定した企画とはなっていなかった。そこで、ロボティクス・メカトロニクス部門では、前回のPC委員委員長が委員長として運営する部門間連携委員会を新設した。そのため、前回大会のつながりの継続性と、安定したOSの設定が可能となった。ROBOMECH2024では、交通・物流部門、スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門、情報・知能・精密機器部門、マイクロ・ナノ工学部門、バイオエンジニアリング部門との部門間連携による4つのOSを設定し、113件の発表を集めた。他分野からの参加もあり、連携合同OSは他の一般OS同様に盛況であった。

2.企画部門

ロボティクス・メカトロニクス部門

5.今後の課題（苦勞した点、課題点、他の企画へのアドバイス等）

部門間連携委員が設定されたことで、部門間連携OSや発表者集めなど、事前準備的な活動は解決できた。ただし、発表会当日や、その後の審査を効率的に処理することが課題として挙げられる。ROBOMECHは例年千件を超える発表者を集める講演会だが、発表当日及び発表後に優秀な研究成果・発表について表彰者を推薦している。部門間連携OSでは「分野融合研究表彰」の受賞者を選出する必要があり、さらに審査にかかる作業は膨大となる。これをどのように効率的に処理するかが課題である。また、表彰者が増えたことで式が長引くのも課題である。これについては、読み上げを省略し、論文題目、表彰者をプロジェクトで表示するなどの工夫が考えられるが、それで十分かどうかは今後検討していきたい。

今後の展望として、当委員会数名の個人的な見解だが、類似の講演会や企画等が同時期に並列的に実施されている印象があり、各講演会を連携できるような工夫があると良いのではないかと考える。例えば、ROBOMECHをコアにして同時期に連携学会を開催し、遠隔でつなぐなどの工夫である。これは大規模な提案なので実現は難しいと思われるが、段階的に学会間の連携があっても良いように感じている。